

# 事業所における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 4 年 4 月 15 日

事業所名：児童発達支援センター 恵光園こどもの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・エリアを分けて使用し、工夫している。	・今後も継続する。
	②	職員の配置数は適切である	○		・一人一人に目が届いている。 ・こどもの出席人数によって、クラスの職員人数を調整したり、他のクラスと連携したりしている。 ・活動内容を日々話し合い、こどもの人数や職員人数等を考えながら配置している。	・配置基準以上の職員はいる。 今後も継続する。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・写真カードを使用している。 ・発達に応じて遊具等の環境設定を行っている。	今後も継続する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・食後や療育後に掃除をして清潔を保っている。 ・こまめに掃除、消毒、換気を行っている。 ・定期的に部屋にあるおもちゃや絵本の入れ替えが行われている。 ・虫の駆除、除草作業を行うなど、安全面にも気を付けている。	今後も継続する。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・事業所会議などで確認を行っている。	療育内容での振り返りは、今後も積極的に行っていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・希望を聞いたり、連絡帳で聞いたりする。 ・アンケート結果を開示し、職員との共有に努めている。	今後も継続する。

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・保護者来園日でも、ご意見についての対応を説明していく。	今後も継続する。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・平成 27 年度に受け、今後また予定している。 ・意見箱の案内、保護者アンケート等を行い、業務改善につなげている。	今後も継続する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・内部研修を行っている。 ・コロナ渦のため、外部へ行くことが難しいが、リモートや Web 上での研修を職員に案内し、研修の機会を設けている。	今後も継続する。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・ポータージの項目を確認しながら課題設定をしている。 ・保護者の要望書を元に作成している。	今後も継続する。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・ポータージの項目を確認しながら行っている。	今後も継続する。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・保護者に要望書を書いていただき、必要な項目を検討し、面談で相談しながら作成している。	今後も継続する。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・行われている。	今後も継続する。
--	---	-----------------------	---	--	----------	----------

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他クラスとも活動することがあるので、職員間で連携を取っている。</li> <li>・職員一人ひとりが活動を考えられるように、分担し話し合っている。</li> </ul>	職員の質をさらに高めるために、日々研鑽していく。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2週間おきに計画を立て、1週間に1度の見直しも行っている。</li> <li>・1週間の中で領域に気をつけている。</li> <li>・内容や職員が固定化されないように工夫している。</li> <li>・本やインターネット等で新しい情報を取り入れながら考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータルプログラムでの5項目の発達を追って行くために、2か月に一度チェックを行っている。</li> <li>・日々、楽しい活動になるよう、引き続き、指導力を上げていく。</li> </ul>
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達に応じた活動ができるよう、職員間の話し合いを行っている。</li> </ul>	今後も継続する。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日、もしくは当日に、週間スケジュールや口頭、サービス提供記録&amp;実施計画にて確認を行う。</li> <li>・必要な物品などの購入を一緒に確認している。</li> </ul>	今後も継続する。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方が様々だが、できる限り、その日のことはその日のうちに共有している。</li> <li>・記録を行いながら、活動での様子、気付きを職員間で共有している。</li> </ul>	PDCAサイクルを活用し、スピード感を持って子どもたちの支援に生かしていく。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、サービス提供記録を記入し、次の活動内容を検討している。</li> </ul>	今後も継続する。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>半年に一回、保護者と面談を行い計画の見直しを行っている。</li> </ul>	今後も継続する。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者がモニタリングや担当者会議に参画している。	今後も継続する。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・内容により、その都度連携を行っている。 ・担当者会議への参加もしている。	今後も継続する。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・今年度は、医療的ケアが必要な子どもの受け入れはなかった。	受け入れた場合は支援を行っていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・今年度は、医療的ケアが必要な子どもの受け入れはなかった。	受け入れた場合は支援を行っていく。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保育所等訪問支援事業への移行を行った。 ・引き継ぎの面談を行った。	今後も継続する。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・引き継ぎシートを作成し、移行先へ伝達をしている。 ・こどもの様子を見るために来園していただき、様子を細かく伝えている。	今後も継続する。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		引き継ぎや連携などで交流を持った。	今後も継続する。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・コロナで行えていない。 ・交流は難しいが、馬のふれあい等で保育園からの来園はあった。	感染状況を見ながら行っていく。

	②⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		参加し、各地域との横のつながりを大事にしている。	今後も継続する。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時や連絡帳にて伝えている。	今後も継続する。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・分かりやすいように動画をプラスして伝えたり、具体的な例を出したりしながら行っている。	今後も継続する。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約の時に説明を行っている。	今後も継続する。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・ポータルプログラムを基本とし、保護者にも理解しやすいように作成した支援計画を説明して、同意を得ている。	今後も継続する。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・面談、連絡帳、電話にて行っている。内容によっては個別面談も行う。 ・随時、相談、面談希望を受け、事前に面談内容を示してもらいながら面談を実施している。	今後も継続する。
保護者への説明責任等	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・父母の会がないため。 ・来園日を実施し、つなぐことは慎重に丁寧に行っている。 ・新型コロナウイルス感染症対応のため、交流は難しい。	今後も継続する。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・一人一人に合わせて面談等で対応している。	今後も継続する。

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・年間の事業計画やおたよりを発行して伝えている。	今後も継続する。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・毎年、確認している。	今後も継続する。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・理解しやすいように、分かりやすく工夫して伝えている。	今後も継続する。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・コロナの影響で今年度は実施できていない行事もあった。	今後、感染状況を見て行っていく。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・消毒、換気をこまめにしている。 ・マニュアルの確認を定期的に行っている。	今後も継続する。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・防災の日に防災食を提供し、避難場所での食事を体験する機会を設けている。 ・毎月、色々な場面を想定し、避難訓練を行っている。	今後も継続する。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・健康管理表、服薬表等で共通理解している。 ・てんかん発作対応、アレルギー発作対応の研修、発作発生時の連絡方法等の確認を行い、職員間で連携を取っている。	今後も継続する。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・医師の指示書をもとに除去対応を実施している。	今後も継続する。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・事業所会議で共有し、危険な場所では職員が見守り。十分気を付ける。	今後も継続する。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待についての研修を行っている。	今後も継続する。

④7	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p>	○	<p>・身体拘束について、保護者にも重要事項説明書にて説明を行っている。</p>	<p>今後も継続する。</p>
----	---	---	--	-----------------

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。